

在日中国人の皆様

ご存知のように北京五輪聖火リレーが4月26日(土)に日本の長野市で行われます、在日中国人として長野市の善光寺まで聖火のリレーを応援したいものと思われまます。同じ日の26日(土)に下記の第31回在日中国人 CFD 研究会も開催されます、日付が重なってしまつて誠に恐縮ではありますが、皆様にご案内させていただきます。

第31回 CCFD 研究会 (The 31 Chinese CFD Seminar)

第31回 CCFD 研究会では、海外から世界著名なCFD大師、英国CHAM社元技術主管 呉振亜博士をお迎えし、「計算流体力学中的群体空间维度的思考方法」を題として、フラクタル(分形)理論に関連すると思われるCFD研究の最新動向をご講演頂きます。また同時に、CHAM-Japan 東京支店長の孔祖偉代表をお招きし、CFD 市販ソフトウェア の鼻祖と言われる汎用熱流体解析ソフト PHOENICS のビジネスについて、ご紹介頂きます。めったにない貴重な機会ですので、ご興味のある方はご出席下さいますようご案内致します。

日 時: 2008年4月26日(土) 15:00~19:00

場 所: 理化学研究所・研究交流棟3階会議室(W319,W321)

地 図:

<http://www.riken.go.jp/r-world/riken/campus/wako/bldg.html>

交通:

<http://www.riken.go.jp/r-world/riken/campus/wako/access.html>

講演 1

講師： 吳 振亞 博士（英国CHAM社 元研究開発技術主管）

題目： 计算流体动力学中的群体空间维度的思考方法

要旨： 应用科学方面遇到的各种问题是多维的；
计算流体动力学的世界要比大多数人想像的宽广。
时间和空间仅仅是其中的四个维度。除此之外，还包括：

- 气体碎片的反应程度和燃料/空气比；
- 固体颗粒的尺寸，温度，组分和速度；
- 辐射角和辐射波长

等等；可称群体维度。

群体维度应采用概率密度函数考虑，它们不该被忽略。

有时它们可被假设，但是最好是通过计算来进行预测。

本次讲座是介绍群体维度的概念及在 PHOENICS 中的应用。

講師略歴： Dr. Zhenya Wu （吴 振亞 博士）

1978-1980 M.Sc.

Heat Transfer and Thermodynamics Section,
Department of Power Machinery Engineering,
Xi'an Jiaotong University, Xi'an, China.

1982-1986 Ph.D.

Computational Fluid Dynamics Unit,
Imperial College of Science and Technology,
University of London.

1986-1988 Research Fellow

Computational Fluid Dynamics Unit,
Imperial College of Science and Technology,
University of London

1996-2007 Technical Director

Concentration, Heat and Momentum

Ltd. (CHAM)

講演 2

講師： 孔 祖偉 支店長（CHAM-Japan 代表者）

題目： 汎用熱流体解析ソフト PHOENICS のビジネスについて

要旨： 3次元汎用熱流体解析ソフト PHOENICS の販売、
技術サポート、流体コンサルティング、受託解析などについて紹介する。

=====

それでは、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

雷康斌
独立行政法人理化学研究所
2008年4月12日